

# 研究用検査試薬

## ヒスタミン遊離 EIA試薬キット (食物アレルギー)

アレルギー5種: 卵白・牛乳・小麦・オボムコイド・大豆

\* 本製品は、体外診断用医薬品ではなく、研究用検査試薬となり保険適用外となります。

### 製品概要

#### 開発背景

好塩基球を用いたヒスタミン遊離試験は、1964年に I型アレルギーの原因アレルゲン検索方法として有用であると報告されました。その後、2000年に塩野義製薬(株)で、プレート法にてキット化され、体外診断薬として発売開始、さらに自動化検査試薬(アラポートHRT®)にリニューアルされ発売されていました。(2018年3月で発売中止)。本方法は、好塩基球からアレルゲンの刺激によって遊離されるヒスタミンを定量するため、特異IgE抗体検査と比較し、より生体内での炎症部位で発生している各種アレルギー症状を再現し測定していると言えます。

本キットは、食物アレルギー5種をプレートにセットしており、プレート法にてキット化されたHRTシオノギ®と同性能の研究用検査試薬として再開発されました。

#### キット内容 (シャンデリア磁石は別売)

アレルギー測定用プレート(2枚)

卵白・牛乳・小麦・オボムコイド・大豆 抗原がプレートにセットされています。

抗体ビーズ(マウス抗ヒト白血球抗体標識磁性ビーズ)、標識抗体(HRP標識マウス抗ヒスタミンモノクローナル抗体)ヒスタミン抗原(ビオチン化ヒスタミン)呈色液(TMB)、遊離緩衝剤、抗体希釈液、洗浄剤、停止液、インナープレート(6個)

4検体 / 1キット分 検体必要量 2mL以上(EDTA-2Na採血管を使用する事)

### ご注文情報(サンプル価格)

製品名	容量	品番	価格(税別)
ヒスタミン遊離EIA試薬キット(食物アレルギー)	1キット	160-0618-0	要問合せ
ヒスタミン遊離EIA試薬受託試験(食物アレルギー)	1検体	160-0625-0	要問合せ

シャンデリア磁石は別売

## 測定原理

本製品は、モノクローナル抗体を固相化した磁性粒子を用いて全血中から好塩基球を分離した後、アレルギーを作用させてヒスタミン遊離を行い、遊離ヒスタミン量をEIAにより測定する方法です。

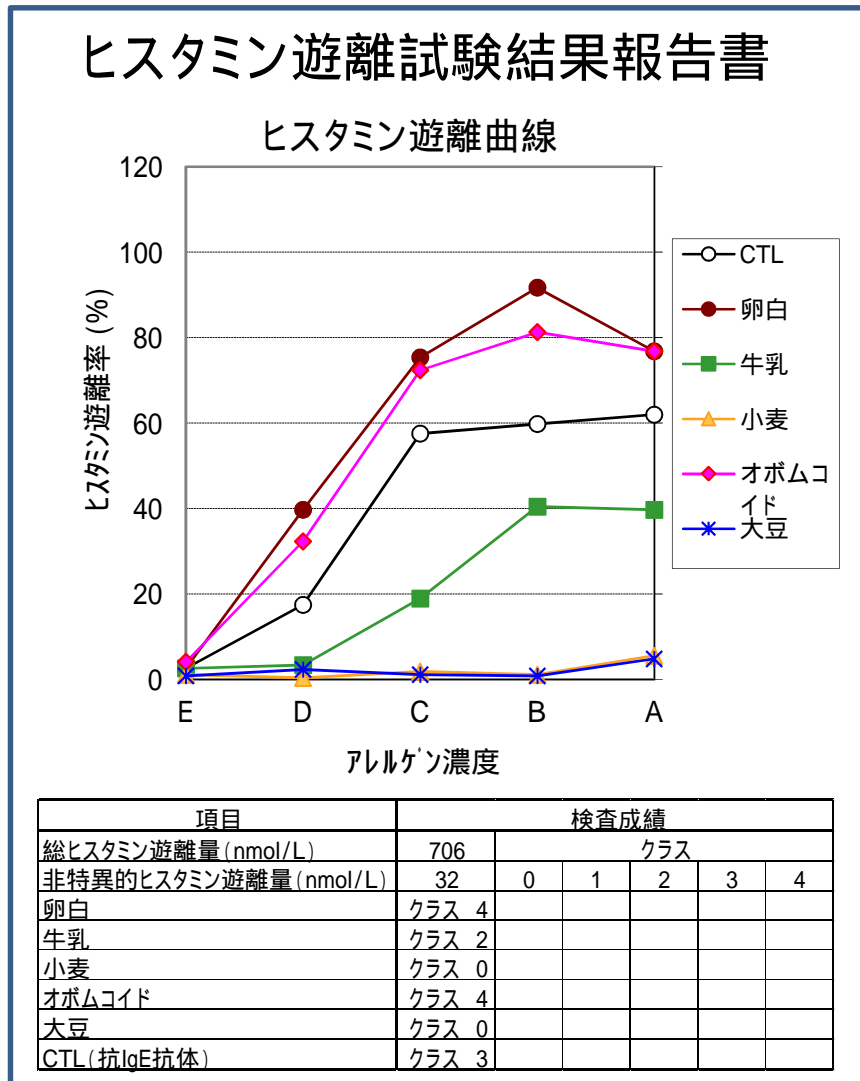
## 測定方法の特徴

ヒスタミン遊離反応が血清成分の影響を受けにくく測定結果の信頼性が高くなっています。

ヒスタミン遊離率から遊離曲線が求められます。

抗IgE抗体の反応により細胞の反応性を評価することが可能です。

## 測定結果例



## 文献情報

- ・Lichtenstein LM. Osler AG. : J Exp Med. 1964 Oct 1;120:507-30.
- ・Nishi H. et. al. : J. Immunol. Methods, 240(1-2), 29(2000)
- ・日本小児アレルギー学会食物アレルギー委員会：食物アレルギー診療ガイドライン2016